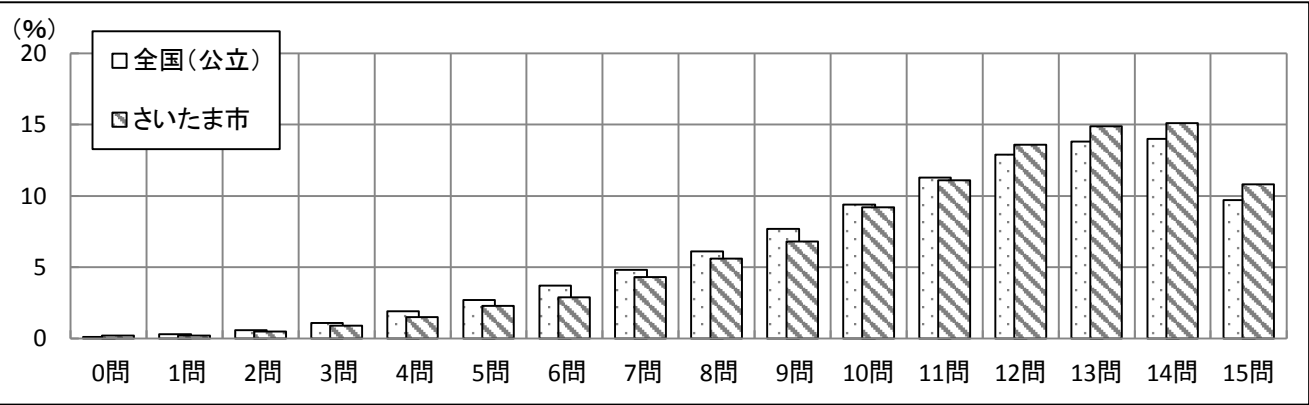


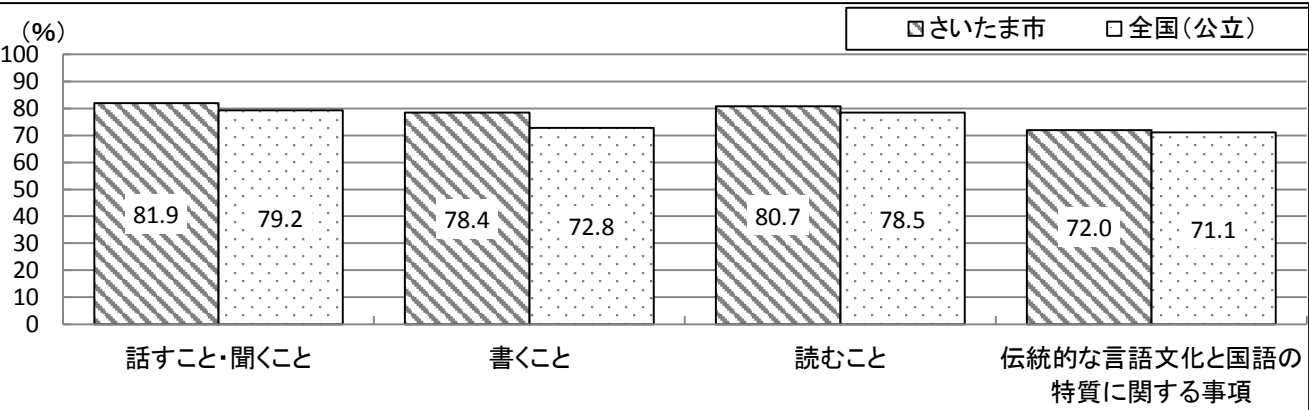
1 全体の正答率（％）

さいたま市	全国（公立）
74.7	72.9

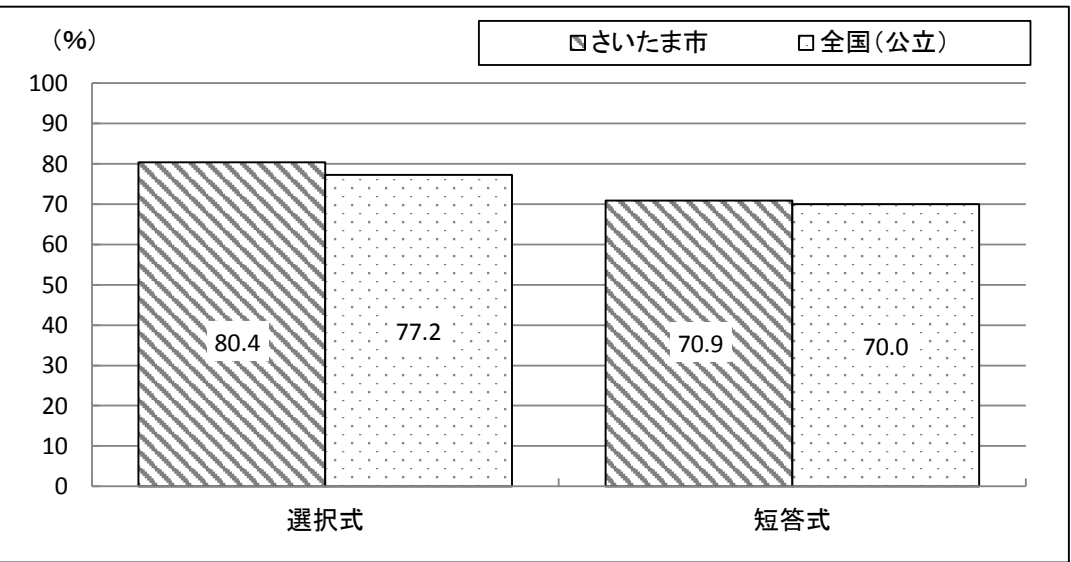
2 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）



3 領域等別正答率



4 問題形式別正答率



5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等・学年				問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		市	全国（公立）	市	全国（公立）
1ー1	漢字を読む（今日は全国的に快晴だ）				5・6年	短答式	82.8	79.3	4.6	5.2
1ー2	漢字を読む（お年玉を貯金する）				5・6年	短答式	98.4	98.5	0.3	0.3
1ー3	漢字を読む（むだを省くようにする）				5・6年	短答式	80.3	81.0	6.3	5.0
1ニ1	漢字を書く（アサガオのたねをまく）				5・6年	短答式	87.4	87.5	4.7	4.5
1ニ2	漢字を書く（したいしい友人と出かける）				5・6年	短答式	76.3	73.8	10.4	10.4
1ニ3	漢字を書く（先生にそうだんする）				5・6年	短答式	71.7	64.2	3.4	5.0
2	全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する	5・6年				選択式	81.9	79.2	0.3	0.2
3	ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する		5・6年			選択式	73.6	67.4	0.2	0.2
4	委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する		5・6年			選択式	83.1	78.2	0.3	0.3
5	公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する			5・6年		選択式	94.8	93.1	0.3	0.3
6	『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する			3・4年		選択式	66.7	63.9	1.6	1.4
7アイ	毛筆で書いた（一）と（二）を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する（永久）				5・6年	選択式	82.5	81.2	1.0	0.9
8__1	ローマ字を書く（りんご）				3・4年	短答式	51.2	53.2	12.9	11.9
8__2	ローマ字を書く（あさって）				3・4年	短答式	40.9	41.8	15.6	13.7
8__3	ローマ字を読む（hyaku）				3・4年	短答式	48.9	50.7	23.0	20.0

※網掛けは、さいたま市の平均正答率が全国を下回っている設問です。

◎：成果[対象となる設問] ▲：課題[対象となる設問]

【結果概要】

◎目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合うことについては、相当数の児童ができている。[A2]

◎目的や意図に応じて、書く事柄を整理することについては、相当数の児童ができている。[A4]

▲登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。[A6]

▲平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすることに課題がある。[A8__1～3]

【指導のポイント】

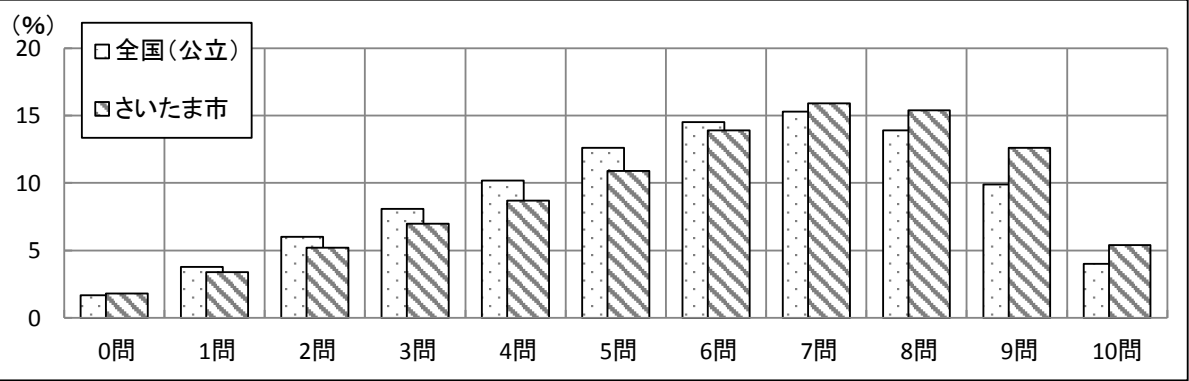
○登場人物の人物像をとらえるための指導としては、物語全体を通して人物像が分かる行動描写や会話などに印を付けたり線を引いたりし、それら複数の叙述を関係付けながら表などを用いて整理することなどが考えられる。

○ローマ字の指導については、ローマ字表記を使って仮名五十音と対応した指導をすることが大切である。また、他教科等でコンピュータを使った学習と関連付けるなどして、繰り返し読んだり書いたりする機会を増やす必要がある。

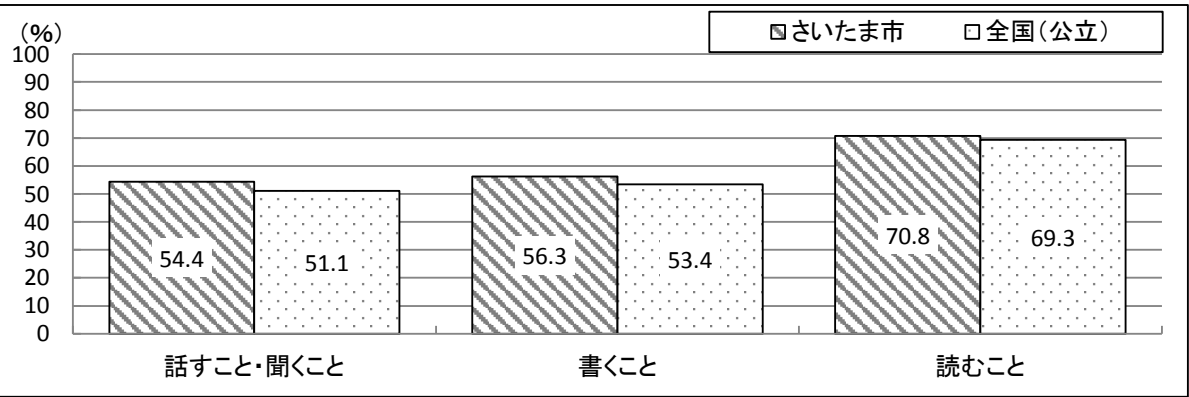
1 全体の正答率（％）

さいたま市	全国（公立）
60.8	57.8

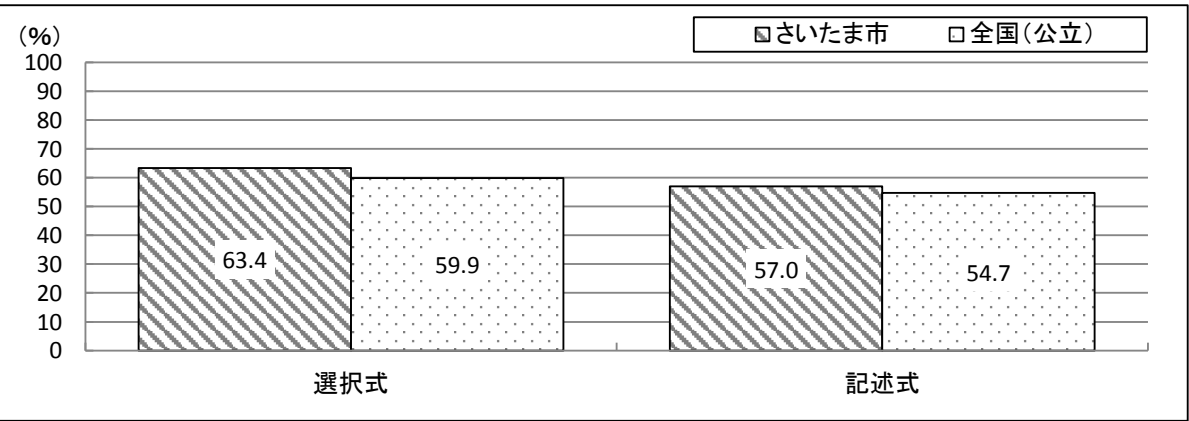
2 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）



3 領域別正答率



4 問題形式別正答率



5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等・学年				問題形式	正答率（％）		無解答率（％）	
		聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		市	全国（公立）	市	全国（公立）
1ー	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	5・6年				選択式	56.9	51.8	0.5	0.3
1ニ	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	5・6年				選択式	54.1	51.1	0.6	0.5
1三	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	5・6年	5・6年			記述式	52.1	50.4	8.9	7.8
2ー	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する		5・6年			選択式	46.1	43.4	1.8	1.2
2ニ（1）	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く		5・6年			記述式	55.1	51.4	7.4	6.7
2ニ（2）	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く		5・6年			記述式	67.7	64.2	8.5	7.7
2三	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する		5・6年			選択式	64.0	58.3	5.0	4.2
3ー	「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する			5・6年		選択式	80.1	77.2	3.1	2.9
3ニ	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する			5・6年		選択式	79.2	77.9	3.7	3.4
3三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く		5・6年	5・6年		記述式	53.0	52.9	12.7	11.5

◎：成果[対象となる設問] ▲：課題[対象となる設問]

【結果概要】

◎目的に応じて、質問したいことを整理することについては、全国平均を5ポイント程度上回っている。[B1ー]

◎活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えることについては、全国平均を5ポイント程度上回っている。[B2三]

▲グラフを基に、分かったことを的確に書くことに課題がみられる。[B2ー]

▲目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読むことに課題がみられる。[B3三]

【指導のポイント】

○複数の図表やグラフを比較したり関連付けたりしながら読み取った情報を、必要な数値や概略を示す言葉などを選択しながら分かりやすく伝えられるよう指導することが大切である。

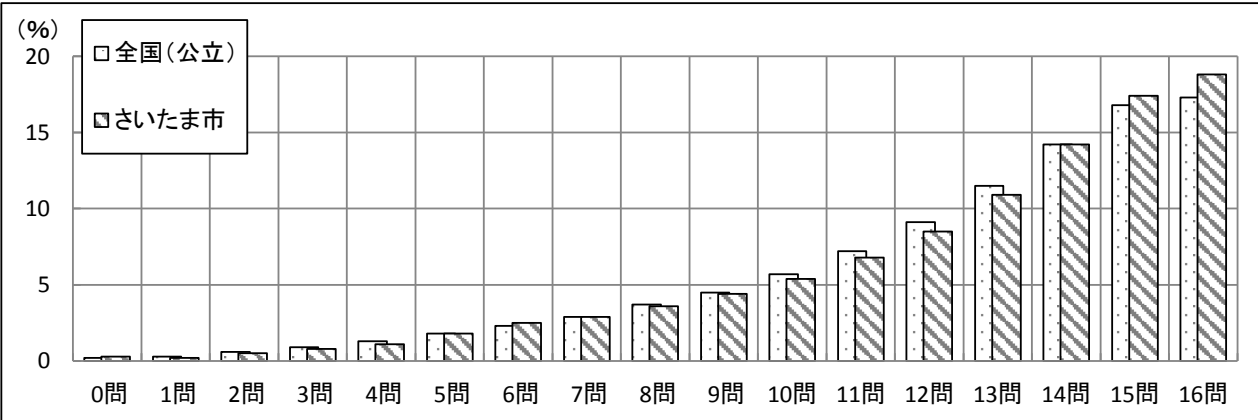
○文章の内容を的確に押さえるためには、書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方や巧みな叙述などについて注意しながら読むように指導することが大切である。

○「楽しむために読む」「知識を得るために読む」「課題を解決するために読む」など、目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのために引用したり要約したりする部分が変化することを実感できるよう継続的に指導することが大切である。

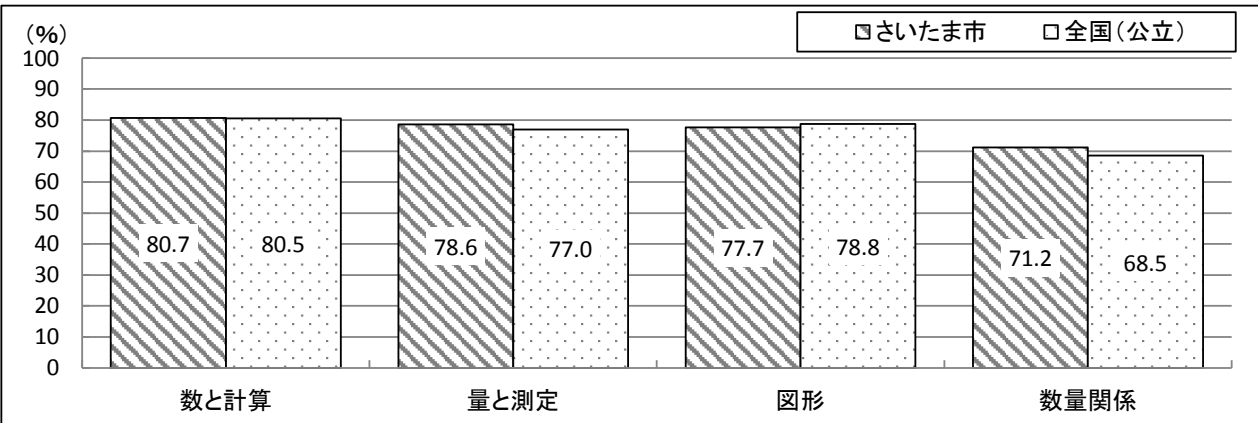
1 全体の正答率（％）

さいたま市	全国（公立）
78.3	77.6

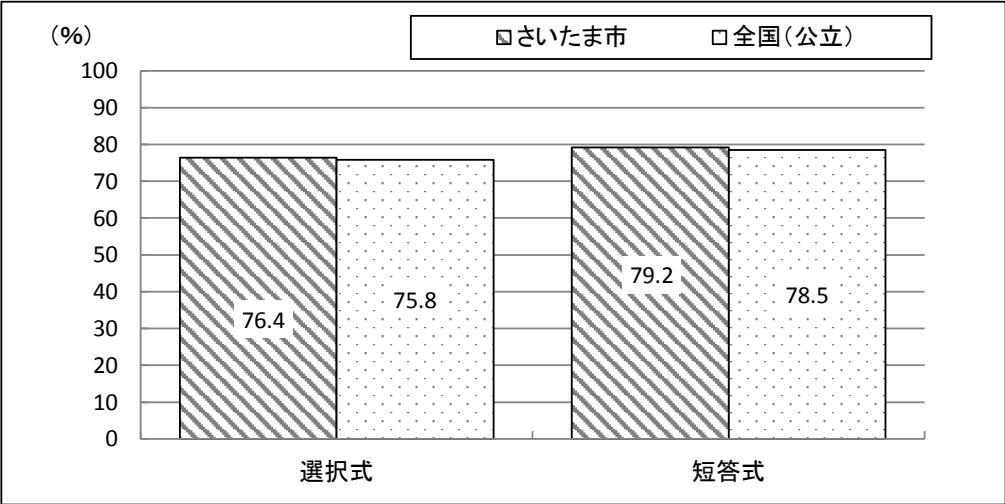
2 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）



3 領域別正答率



4 問題形式別正答率



5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域・学年				問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係		市	全国（公立）	市	全国（公立）
1(1)	□÷0.8の商の大きさについて、正しいものを選ぶ	5年				選択式	63.6	64.8	1.8	1.3
1(2)	2.1÷0.7を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	4, 5年				短答式	64.3	68.5	0.4	0.4
1(3)	小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	3～5年				短答式	89.4	87.9	1.2	1.1
2(1)	905－8を計算する	3年				短答式	91.0	90.9	0.5	0.4
2(2)	4.65＋0.3を計算する	4年				短答式	78.5	77.1	0.6	0.5
2(3)	18÷0.9を計算する	5年				短答式	76.9	77.7	1.3	1.1
2(4)	(2÷9)×3を計算する	5年				短答式	88.8	87.0	1.9	1.9
3(1)	二つの数の大小関係を表す不等号を書く	2, 3年				短答式	97.5	96.7	0.5	0.6
3(2)	7.1, 7.7, 0.1の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く	4年				短答式	76.7	74.1	0.4	0.4
4	8㎡に14人座っているシートについて、1㎡当たりの人数を求める式を書く		5年			短答式	72.4	72.0	4.7	4.3
5	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ		5年			選択式	84.8	82.0	1.3	1.1
6	4枚の三角定規でつくることができる形を選ぶ			1～4年		選択式	80.1	79.6	1.2	1.0
7	直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ			4年		選択式	75.3	78.0	2.7	2.5
8	テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ				5年	選択式	78.0	74.4	2.3	2.1
9(1)	前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く	1年			1年	短答式	80.2	80.2	4.5	4.2
9(2)	定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く				5年	短答式	55.4	50.9	6.2	5.7

※網掛けは、さいたま市の平均正答率が全国を下回っている設問です。

◎：成果[対象となる設問] ▲：課題[対象となる設問]

【結果概要】

- ◎除法における計算の確かめの方法について、相当数の児童が理解している。[A1(3)]
- ◎繰り下がりのある減法の計算は、相当数の児童ができています。[A2(1)]
- ◎乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することは、相当数の児童ができています。[A2(4)]
- ◎二つの数の大小関係を表す不等号を書くことは、相当数の児童ができています。[A3(1)]
- ▲除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることについての理解に課題がある。[A1(1)]
- ▲除数と被除数に同じ数をかけても、商は変わらないことについての理解に課題がある。[A1(2)]
- ▲1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。[A9(2)]

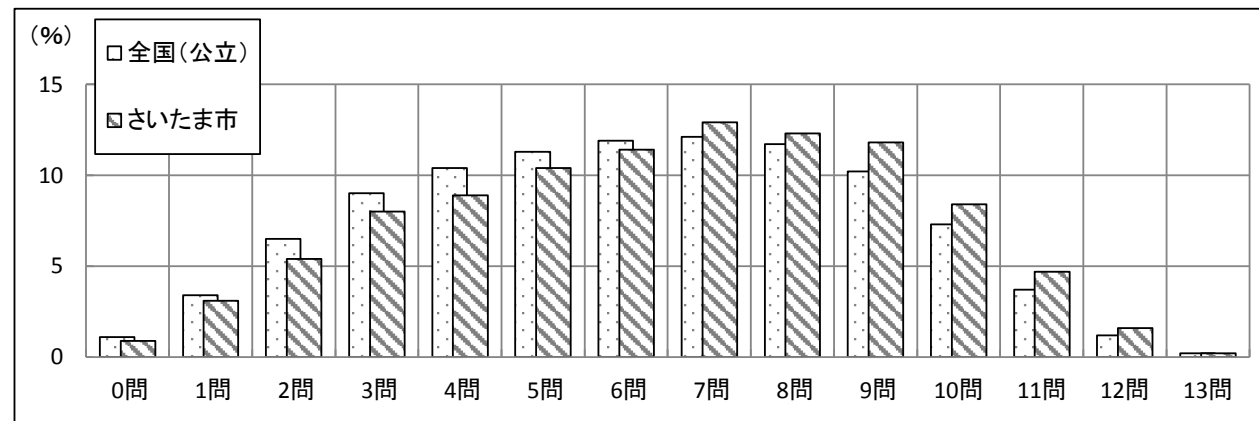
【指導のポイント】

- 目的に応じて計算の結果の見積りをする場を適宜位置付け、計算の仕方や結果について振り返って判断できるようにすることが大切である。
- 整数の除法の計算において除法の性質が成り立つことを確認した上で、小数の除法を整数の除法に置き換えて計算することができることを実際に確認する活動を取り入れることが大切である。
- 百分率で表された場面を的確に読み取るために、問題場面を図に表し、基準量と比較量、割合の関係を正しくとらえられるようにすることが大切である。

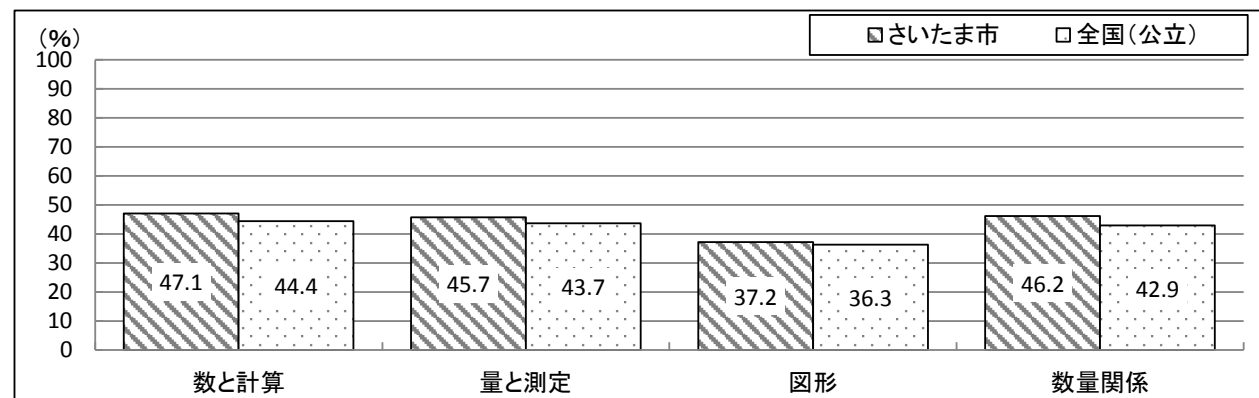
1 全体の正答率（％）

さいたま市	全国（公立）
49.7	47.2

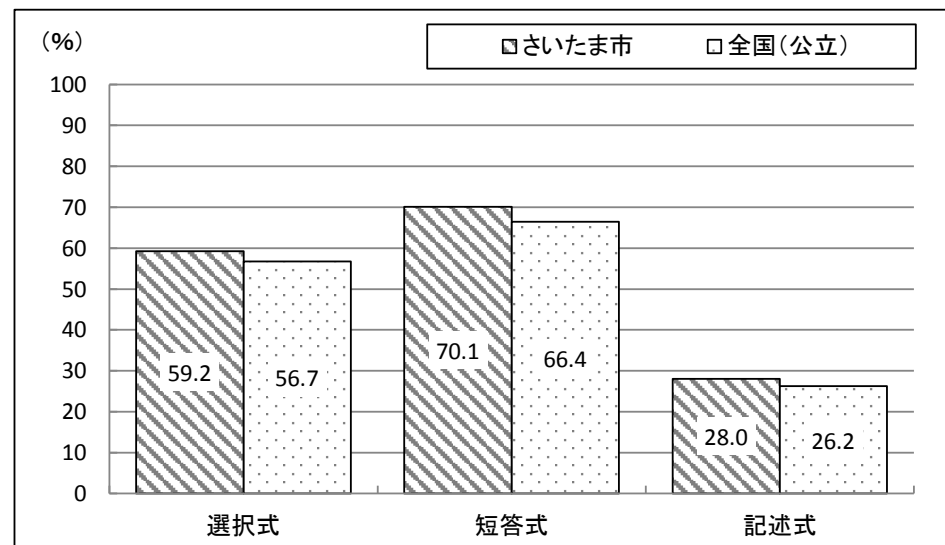
2 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）



3 領域別正答率



4 問題形式別正答率



5 設問別平均正答率等

※「学年」はその内容を学習する学年です。

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域・学年				問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係		市	全国（公立）	市	全国（公立）
1(1)	1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く	3年	4年			短答式	93.2	92.6	0.6	0.4
1(2)	正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm ² 小さくなることの説明を書く		4年			記述式	48.1	45.2	4.6	4.0
2(1)	ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところに置けばよいか書く				3, 4年	短答式	59.9	56.2	3.0	3.1
2(2)	40mハードル走の目標のタイムを求める式に8. 1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く	3, 5年			4年	短答式	57.3	50.5	3.8	4.2
2(3)	目標のタイムを求める式の中の0. 4や0. 3が表す意味を書く	3, 5年				記述式	16.2	15.6	19.9	18.6
3(1)	三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ	2～4年				選択式	65.8	62.6	1.0	1.0
3(2)	縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く	2, 3年				記述式	42.2	38.4	19.3	17.4
3(3)	1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ			3, 5年		選択式	78.1	76.5	1.8	1.9
4(1)	学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ		5年		3年	選択式	53.7	48.3	2.0	1.9
4(2)	示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ				3年	選択式	73.0	70.7	2.7	2.5
4(3)	A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く				4年	記述式	25.6	24.9	13.5	13.2
5(1)	示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く	3年	4年	3, 5年	3年	記述式	7.9	6.9	17.9	18.7
5(2)	示された四角形を並べてできる図形を選ぶ		4年	3, 5年		選択式	25.5	25.4	9.7	8.9

◎：成果[対象となる設問] ▲：課題[対象となる設問]

【結果概要】

◎問題場面に示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることは相当数の児童ができている。[B1(1)]

▲示された式の中の数値の意味を、ほかの数値や演算と関連付けて解釈することに課題がある。[B2(3)]

▲グラフから読み取った情報を根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。[B4(3)]

▲示された除法の式の意味を、図形の特徴を基に説明することに課題がある。[B5(1)]

▲図形を構成する角の大きさを基に、示された四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。[B5(2)]

【指導のポイント】

○友達が考えた式や教師が示した式について、その式の数値はどこから導き出されたものであるのか、その数値に対してどのような演算を行っているのかを考える場面を適宜設けることが大切である。

○グラフは目盛りの大きさなどに留意して的確に情報を読み取ることが大切である。複数の折れ線グラフを比較し、変化の大きさや増え方の大きさの違いについて根拠を明らかにして説明する活動などを取り入れることが大切である。

○言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりする活動が大切である。なお、説明を聞いた児童が問い返しをするなどして、式の意味について過不足なく説明できているかどうかを児童同士が確認できるようにすることも大切である。

○なぜ図形が構成できるのかを図形の特徴や角についての知識などを基に考える場を設けるなど、児童が図形の意味を理解したり、図形の性質を見つけたり、図形の性質を確かめたりすることができるようにすることが大切である。